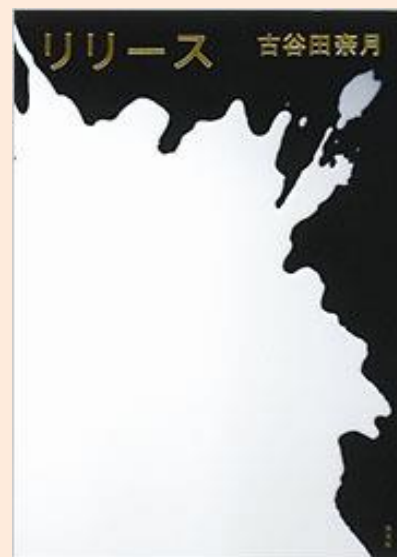


## 『リリース』 光文社 古谷田 奈月／著

女性の首相が率いる「オーセル国」では男女平等を掲げ、同性婚が合法化され、国営の生殖事業により誰もが子どもを持てる。ある日、異性愛者の大学生タキナミ・ボナが、国の象徴である精子バンクを占領するテロを起こし、大衆に向かって演説中に仲間のオリオノ・エンダに射殺される。性の役割から解放（リリース）され、同性愛者が多数派になった社会では、異性愛者という新たな少数派が生まれていた。



架空の国の話だが、現代社会にも通じる生きづらさを抱える登場人物たち。「普通に生きたい」と願っても、置かれた社会によって「普通」でなくなる場合もある。苦しい状況でも「自分らしく生きること」を問う。